

F-5 東北，北海道地区居住者の老化現象に関する家政学的研究（第5報）

一岩手地区（盛岡市）居住者の生活状況及び年齢，性別老化現象について一  
岩手大教育 清水 房 後藤和子 池田揚子 及川桂子 赤沢典子  
県立盛岡短大 ○青藤 憲 平山 貞 江原碩子 菅原正子

目的，方法は前報と同じ。

結果 1 生活状況の年齢，性別の比較

1)世帯 男の世帯主の率は69才までは90%台であり，そのうち75%強が主たる収入者であった。老人世帯は男女共20%，配偶者のない老人は女に多い傾向があつた。2)職業 男の職業は全体に自営業が多く，年齢が増加するにつれてその傾向がみられた。無職の者は平均30%で年齢による差はあまり認められなかつた。3)住居 住宅状況は男女，各年齢共90%が自家に住み，同居世帯のうち90%が専用室を持っていた。4)情報 新聞は男90%，女80%が講読しており，雑誌については70%，50%であつた。テレビでは女が娯楽の視聴率が著しく高いが，男はスポーツ，報道，教養と広い範囲に亘って視聴していた。5)意識 老人の幸福度について，特に幸福と感じている者は男女，各年代共40%強であつたが，不幸と答えた率は非常に低く約3%であつた。家族に対する経済的負担度は男75%，女60%が負担をかけないといないと答え，心苦しいと答えた者は男女平均して2%強であつた。心配については，男女共50%が心配事が有り，内容は健康，家族に関することが多く，金銭に関しては男は女より心配と答えた率が高かつた。6)食生活 男女共好きな食品に野菜，果物，魚類をあげていた。

2 老化現象の統計的解析及び年齢，性別の比較についても報告する。